



災害復旧の応急工事＝然別川で

豪雨被害さらに増える 関係一百億円を超す

大半が然別川に集中

降り続く雨の下、刻々と
水かさを増す然別川
(万代橋付近)

土壌のまろめによると、被害額は三百億三千九百四十二万一千円(四百六十四万)。今年度の同土壌で算出額は百八十九億円である。これから比べてもいかに大きなダメージを受けたかわかる。

被害額を部門別にみると、河川が百八十八億五千九百四十二万一千円(三百九十四万)で、全体の九〇%以上を占め圧倒的。次いで織りよう六億三千四百二十万円(十八万)、道路五十六億六千五百八十万円(八十七万)。

八月豪雨災害の土木関係被害額はその後さらに増え、帯広土木現業所関係ではついに「一百億円を突破、川を中心とした河川の被害額が大きく百八十八億円」と上っており、九月一日から七日まで行われる建設省の災害査定を受けたあと、本格的な復旧工事がスタートする見通し。災害復旧工事は通常三年間で実施形復旧だけでなく、一部築堤補修を含めた計画復旧も予定しているので、すべて復旧が完了するのは五から七日」と、土壌側では这样说る。

河道を透る矢先急処置を進めているが、本格的な復旧工事は、建設省・大蔵省の災害査定を受けてからの十月以降に着手することになりそうだ。この災害復旧工事の認定を受けた後、事業費の八〇%が国費補助になる。災害復旧工事は原形復旧が前で三年間の継続工事になるが、原形復旧だけでは再び大雨災害の出る心配があるため、土壌側では鹿追町の然別川でも然別川改修工事をしていよいよ延長セキロなどを含めて渠化整備するが計画的に復旧工事にはなるが、原形復旧だけの問題があるため、復旧工事がスタートするのは建設省の災害査定後になると、工事が終わるのは来年になるみられ、それを通り抜けて河床を走る車の往来が渋くなる。工事が終わるの

ずっしり8月豪雨後遺症

国道など13カ所不^可通

十勝三股—三国トンネル

今季復旧は無理?

八月豪雨災害のツメ跡はまだ残っており、十勝管内では十八日午前十時現在、国道一路線二カ所、道道・路線十
一カ所が依然として不通になっている。帯広開建、帯広土現では復旧工事を進めているが、被災規模が大きく建設
省の釐定待ちの現場もあり、全面的に復旧するには相当の時間がかかりそうだ。

国道一路線の十勝側
(鹿追橋、屈足橋、瓜幕
橋、清水一鹿追線、紅葉橋、
清水、大樹線、井美橋、熊牛一
橋(鹿追橋)、橋脚が沈下した熊
牛一御影橋(清水大橋)など被

雪の大きいところは九月一日
まで十勝三股—三国トンネル間
別線常盤橋、音更一池田線

橋の歩道部分だけ二十日から通
す。また、音更一池田線(オサ
ルシナイ)も同日から開通する
見込みだ。

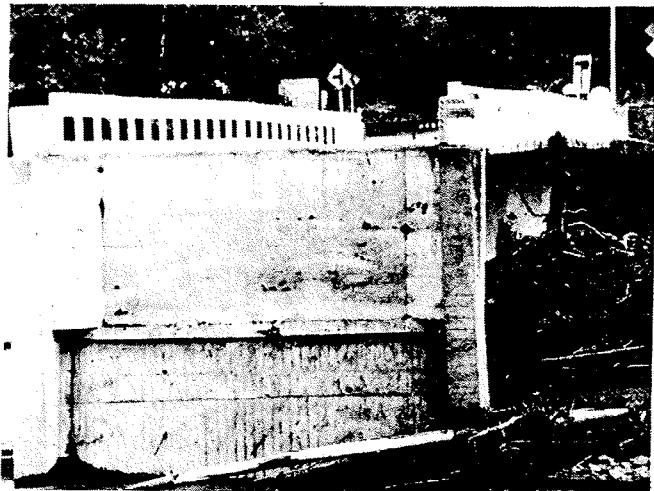
また、忠別一清水線(岩松一
トムラウシ)、清水一大樹線(兵
栄橋)、笛川一土幌線(音更町
邊)なども現在復旧工事を
急いでおり、近く開通するもの
とみられている。

しかし、橋脚がくずれた清水
一鹿追橋(紅葉橋)、取り付け遭
路が大きく決壊した音更一鹿追
橋(鹿追橋)、橋脚が沈下した熊
牛一御影橋(清水大橋)など被
雪の大きいところは九月一日
まで十勝三股—三国トンネル間
別線常盤橋、音更一池田線

行は不可能に

大きく路肩が崩れ、車両の通

(東瓜幕地区)



路肩が決壊したためにむき出
しなった農業用水横断管
(東瓜幕地区)



引き水対策に苦慮 鹿追

新得 孤立地区に調査隊着く

【鹿追、新得】西十勝に被害が集中した大雨から五日目。両町では八日も水害の復旧作業が精力的に進められたが、鹿追では引き水による畑の浸食という難問が新たに生じ、後遺症への対応に追いまくられている。

畑の浸食が目立っているのは、はんらんした然別川流域の下鹿追周辺。七日午後から本流の水位が低下するにつれ引き水が始まつたが、流木などの障害物が帰り道をふさいだため流れが変わり、作物ごと畑地を浸食しているという。このため、町では引き水をそれぞれ最短距離で本流に戻すべく、

アーチドーザーなどを動員している町では、「流れが変わった個所ごとに四一五ヶ所ずつ浸食される感じ」というが、八日は現場の対応優先で被害面積はわかつてない。浸食は冠水と違い、来年は畑の用をなさなくなるだけに被害地区の人たちの表情は暗い。

一方、新得では道道忠別一清水線の寸断で孤立していたトムラウシ地区に、防疫を兼ねた被害調査隊が陸路で到着。欠乏していたガソリン、タバコ、野菜などを運び

(鹿追神社前)



道路を乗り越え、なおも押し寄せてくる濁流
はんらんした濁流を食い止めようと必死の土のう積み

(西瓜幕地区)

